

ノート:

- 1) パソコンによっては+/-12Vdc RS-232 信号を供給しておりませんので、コンバーターは 57.6KBPS の最大レートで動作しません。
- 2) GNDとshield信号は接続されていますので、電氣的に同等です。
- 3) 9Vdc 400ma 電源アダプターをお薦めします。
- 4) 長い距離では少なくとも 24AWG のツイスト・ペア線を強くお薦め致します。

Warranty:

Integrity Instruments warranties **all** products against defective workmanship and components for the life of the unit. Integrity Instruments agrees to repair or replace, at it's sole discretion, a defective product if returned to Integrity Instruments with proof of purchase.

XP422-9A

XP422-9I オプト・アイソレーション

RS-232 ⇔ RS-422 コンバーター



Integrity Instruments

パフォーマンス特性		
操作温度範囲	-40 ~ 85 (-40F ~ 185F)	
DC入力電圧最小(+V)	7.5Vdc	
DC入力電圧最大(+V)	24Vdc	
DC入力電流公称値(+V) XP422-9A	45mA	
DC入力電流公称値(+V) XP422-9I	90mA	
DC入力電流最大(+V)	250mA	
ESD静電気放電(A/B)	1500V	
ボーレート最大	115.2Kbps	
ボーレート最小	600bps	
RS-422ノード数	ポイントからポイント	
最大ケーブル長	1,200mm	
ターミネーション抵抗	120ohm	
アイソレーション電圧(XP422-9Iのみ)	3,000ボルト	
ジャンパー設定		
ジャンパー数	機能	デフォルト
JP4 JP5	DTE 又は、DCE	DCE(オリエンテーション)

ノート:

RS-422はポイントからポイントです。これはA点からB点のみと言うことです。
RS-422マルチドロップはRS-485 4線です。この場合は、XP4854W-25を使って下さい。

DB25ピン

RS-232 TxD送信(出力) : DB9 pin 3
RS-232 RxD受信(入力) : DB9 pin 2
RS-232 グランド : DB9 pin 5

LED操作

XP422-9A/Iはケーブルングの問題と一般操作を助けるためにパワー・ステータスとシグナルLEDを持っています。シグナルLEDはデータがあるときのみパワーされますので、それらは短い周期のみ点滅します。

電源 YELLOW LED: ユニットに電源供給時 ON
信号 RED LED: RS-232送信のときON
信号 GREEN LED: RS-422受信のとき

電源供給

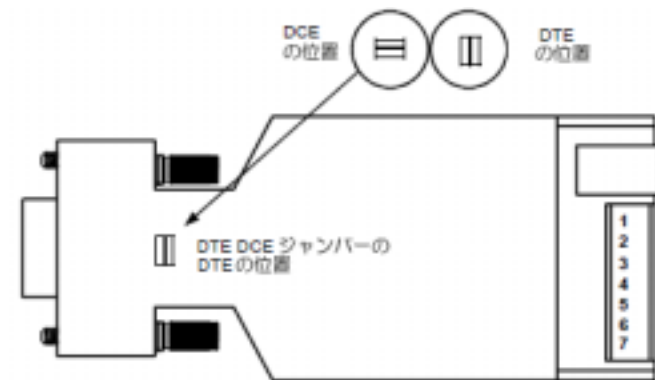
XP422-9A/Iの動作には外部電源が必要です。PS9J9 Vdc 400mAをお奨めします。電源は7.5 ~ 24.0Vdcの範囲内でないといけません。

ジャンパー

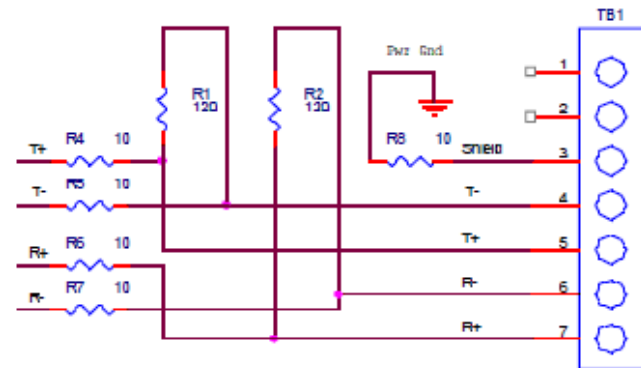
XP422-9A/IにはDTE/DCEジャンパーが付いています。ジャンパーはユニットの内部にあります。デフォルトはDTEです。

もし、DCE配線が必要な場合は、小さなドライバーでケースの側面のスロットをねじってケースを開けてください。

ジャンパーの位置と方向



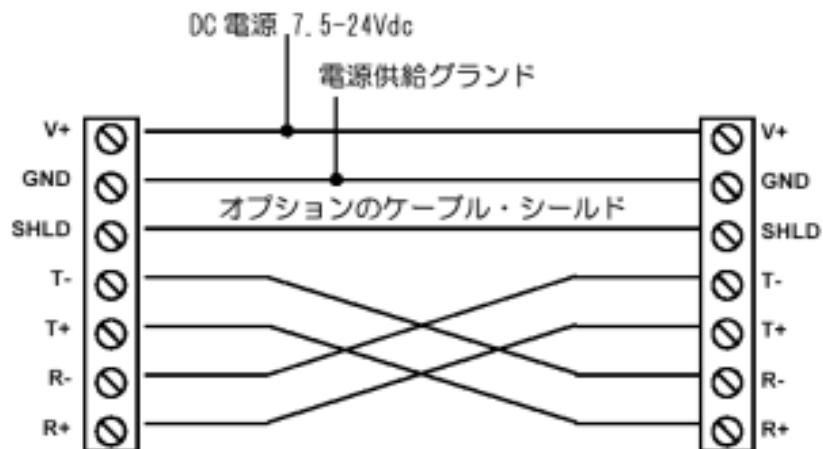
ターミネーション回路図と結線



RS-422結線

XP422-9A/Iはポイントからポイントで操作するように設計されています。フル・デュプレックス（全2重）コンフィギュレーションではデータの送信とデータの受信にはセパレートされたデータ線のペアが使用されます。

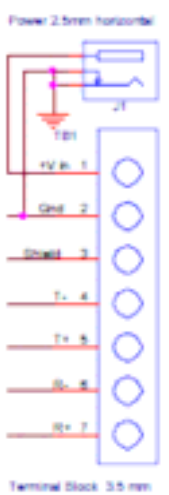
XP422-9AとXP422-9Iフル・デュプレックス・ケーブル図



ユニットはターミナル・コネクタか電源ジャックから電源を供給することができます。もし電源ジャックを使用しますと、他のユニットはターミナルから電源供給することができます。

結線ノート

- 1) GNDとSHLDは10 Ω抵抗でユニット内で接続されています。
- 2) ケーブルのターミネーション（終端）は長距離と高速アプリケーションには重要です。
- 3) 推奨ケーブル：約61mmを超える場合は、24awg標準のシールド付きツイスト・ペア・ケーブルを使用してください。Belden #9841又は、#9463
送信と受信のケーブルはクロス接続としてください。



フロー制御オプション

マイクロソフト・ウィンドウズ・オペレーティング・システムはユーザーがいつかのRS-232フロー・コントロール・オプションを選択することを許しております。XP422-9Iはハードウェアとノン・オプションの両方をサポートしています。Xon/Xoff フロー制御は、RS-422ターゲット・デバイスがXon/Xoffをサポートしている時のみサポートしています。

ハードウェア・フロー・コントロールは、RTS/CTSフローとしても知られています。いかなるRS-232データも送信の前にPCがRTS(送信用意) 信号を有効にし、接続されたデバイスからのCTS(送信クリア)を待ちます。ユニットが接続されているRS232装置内のRTS線をモニターしCTS線を有効にします。

ノン・フロー設定もサポートされています。フロー・コントロールの選択の種類に関係なく、XP422-9A/Iは自動的にRS-232の送信と受信信号をコントロールします。

